

# 電子計算機プログラミング

## 第9回シンポジウム報告集刊行について

数理科学の総合研究第4班として、昭和35年1月に電子計算機プログラミングシンポジウムを開き、それから毎年1月に回を重ね、第4回をもって総合研究が解散されたが、このシンポジウムを続けたいとの希望が強く、しかも回を重ねるごとに盛大になってきている勢にあるし、全回各地に分散している同好の研究者が一堂に会して話し合い、論じ合う機会として、まことに得がたいので、さらに毎年1月年中行事として開催することになり、今回は第9回となったのである。

はじめの頃とちがつて現在では、規模の大きい電子計算機が容易につかえるようになって来て、研究者も多く経験を重ね、その応用分野もますます広がって来ているので、このシンポジウムでも、いよいよ具体的な問題が論ぜられ、3日間がまことに充実したものとなって来た。今回もまた有意義に終ることを期待している。

この報告集を手許に持って、十分話し合い機会を持つということが、このシンポジウムを活気あるものにするゆえんであって、さらに将来の貴い文献ともなると信じている。

いつもながら、長い期間にわたって、幹事団が具体的な企画をたて、種々と準備に大変な努力を払われて、ここにシンポジウム開催にいたったことに深く感謝する。また幾多の困難にもかかわらず、財的な支持を与えて下さった各社には、ここで厚く感謝する次第で、これによってこの有意義なシンポジウムを持つことができたので、特に記しておきたい。さらに慶応工学会がこの運営事務を引き受けて、シンポジウム開催に支障のないようにして下さいたことを感謝する。

プログラミングシンポジウム委員会

委員長 山内二郎

本 PDF ファイルは 1968 年発行の「第 9 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトの [https://www.ipsj.or.jp/topics/Past\\_reports.html](https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html) に下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載して、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

#### 過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者検索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思います。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 ([tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp](mailto:tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp)) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>